



文部科学省後援 PDA 全国中学校・高校即興型英語ディベート合宿・大会 2022 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2022年8月5日(金)～6日(土)

(1日目)中学生：3ラウンド、高校生：練習3ラウンド、予選1

(2日目)高校生：予選2、予選3、キーノートレクチャー、レクリエーション、準決勝、決勝

会場：Zoomにてリモート開催

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

後援：文部科学省

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協力：大阪公立大学



参加者数：中学生 99 名 (16 校・28 チーム)、高校生 316 名 (55 校・97 チーム)

中学校

(東京都) 獨協中学校、品川女子学院中等部、白百合学園中学高等学校、東京都立大泉高等学校附属中学校、東洋英和女学院 (神奈川県) 湘南白百合学園中学校、洗足学園中学高等学校、栄光学園中学校、聖光学院 (愛知県) 愛知真和学院大成中学校、南山中学校女子部 (京都府) 京都市立大宅中学校 (兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校 (岡山県) 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 (千葉県) 翔凜中学校 (徳島県) 徳島県立城ノ内中等教育学校

高校

(岩手県) 岩手県立盛岡第一高等学校、岩手県立一関第一高等学校 (茨城県) 東洋大学附属牛久高等学校、清真学園 (栃木県) 宇都宮高等学校、栃木県立佐野高等学校、作新学院高等学校 (群馬県) 高崎市立高崎経済大学附属高等学校 (千葉県) 翔凜高等学校 (東京都) 品川女子学院高等部、獨協中学高等学校、山崎学園富士見高等学校、東京都立大泉高等学校、女子聖学院高等学校 (神奈川県) 慶應義塾高等学校、湘南白百合学園高等学校、神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校、神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、白鵬女子高等学校、栄光学園高等学校、聖光学院 (富山県) 富山国際大学附属高等学校 (福井県) 福井県立藤島高等学校 (長野県) 長野県長野高等学校、長野県松本県ヶ丘高等学校、長野県屋代高等学校、伊那北高等学校 (岐阜県) 岐阜高等学校、岐阜聖徳学園高等学校 (静岡県) 静岡県立静岡高等学校 (愛知県) 東邦大学附属東邦高等学校、東海高等学校、南山高等学校女子部 (三重県) 三重県立四日市高等学校 (京都府) 京都府立嵯峨野高等学校 (大阪府) 大阪青凌高等学校、関西創価高等学校、関西大倉高等学校 (兵庫県) 神戸市立葺合高等学校、雲雀丘学園高等学校、報徳学園高等学校、神戸市立葺合高等学校、神戸大学附属中等教育学校、兵庫県立尼崎小田高校 (岡山県) 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 (広島県) ノートルダム清心中・高等学校 (徳島県) 徳島県立城ノ内中等教育学校 (福岡県) 福岡県立久留米高等学校、福岡県立城南高等学校、朝倉高等学校 (熊本県) 熊本県立人吉高等学校 (大分県) 大分豊府高校 (鹿児島県) 鹿児島中央高等学校、鹿児島県立鶴丸高等学校

(順不同)

開催趣旨：

〈中学生・高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生、PDA 認定教育ジャッジによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。また他校生徒との交流も深まります。初心者の方も歓迎です。合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。

〈教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。2022年度からの「論理・表現」をはじめ、授業に導入できる即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのセッションを50分としています。また、効果的なプログラムを共に開発するための意見交換会も設けています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1 : Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.

（園や学校の運動会での順位付を廃止すべきである。）

論題 2 : As pets, robot dogs are better than real dogs.

（ペットは、本物の犬より、ロボット犬の方がよい。）

論題 3 : We should abolish the death penalty.

（死刑制度を廃止すべきである。）

論題 4 : STEAM education should be prioritized over English education.

（英語よりも、STEAM を学ぶべきである。）

論題 5 : Footage of shooting incidents should not be reported.

（銃撃事件の映像は報道すべきでない。）

論題 6 : Public policies should be based on public opinion polls, rather than a few experts or bureaucrats.

（公共政策は、少数の専門家や官僚ではなく、世論調査に基づくべきである。）

論題 7 : NATO should deploy its troops to Ukraine.

（NATO はウクライナに派兵すべきである。）

論題 8 : Japan should promote the use of nuclear power plants.

（日本は原子力発電所の利用を促進すべきである。）

1 日目

開会式では、まず今回の参加校が紹介されました。カメラとマイクのチェックも兼ねた学校名の点呼と挨拶をしました。その後、スタッフの紹介、合宿スケジュールの確認、ルール諸注意を行いました。ルールの確認では、POI (Point of Information: 質疑応答) のポーズの練習も行いました。今回は、中学生・中学校教員の部 (今年度から新設)、高校生の部 (授業の部、課外活動の部 初心者、課外活動の部 一般)、高校教員の部 (初心・一般、認定、受験) が同時進行で行われます。授業の部においては、学校の通常授業において即興型英語ディベートに取り組んでいる学校を対象とし、普段の授業への積極的な参加の成果を発揮する場、また合宿で学んだことを各校に持ち帰るシステムとなっております。



POI の練習

中学生ラウンド1・高校生練習ラウンド1の論題は「園や学校の運動会での順序付を廃止すべきである」でした。教員の部ではラウンドをジャッジする先生、生徒の様子を見学する先生、検定審査レクチャーを聴く先生に分かれました。生徒たちはそれぞれの経験を参考にどのような議論ができるかブレストシート (アイデア出しシート) にメモし、まとめていきました。ディベートが終了すると、他校の生徒と自己紹介をし、学校の様子などを語り合う姿が見られました。

中学生ラウンド2・高校生練習ラウンド2の論題は「ペットは、本物の犬より、ロボット犬のほうがよい」でした。コストパフォーマンスや人と犬の幸福に焦点をあて、自分の見解を明確にした議論を展開する様子が見られました。

中学生ラウンド3・高校生練習ラウンド3の論題は「死刑制度を廃止すべきである」でした。犯罪抑止力や罪刑の均衡、人権侵害や世界的な潮流に関して深く論議されました。



中学校 R2 ディベート後のエアークロウの様子 (聖光 B vs 洗足)

また、高校生練習ラウンド中は各テーブルで生徒にもジャッジ役を割り振り、他の生徒のディベートを聞いて勝敗やその理由を振り返ってもらう練習を行いました。ジャッジを初めて務めるという生徒もいましたが、事前に行ったジャッジレクチャーを参考に、客観的視点からディベートを評価する体験は新鮮だった生徒も多かったようです。教員の部でもディベートが行われ、実際にディベーターを体験すると同時に、ジャッジの練習を行う機会が設けられました。



高校生 練習 R2 長野 B vs 城南 C



高校生 練習 R2 岐阜 A vs 宇都宮 B



高校生 練習 R3 城ノ内 B vs 翔凜 C



高校生 R3 湘南白百合 B vs 栄光 B



高校生 練習 R3 藤島 B vs 一関第一 A



ディベート後の交流 (松本県ヶ丘 C・慶應)

1 日目の最後は、高校生の部の予選 1 が行われました。予選 1 の論題は「英語よりも、STEAM を学ぶべきである」でした。練習ラウンドでディベーターやジャッジを務めた経験を活かし、活発な議論が行われました。科学技術が目覚ましい進歩を遂げ、グローバル化が進む今日、これからの未来社会を担っていく生徒たちにとっても大変有意義な議論となりました。



予選 R1 佐野 A vs 関西創価 A



予選 R1 ディベート後のエアークラップ（鹿児島中央・藤島 B）

高校生の部・教員の部で熱い議論が交わされる中、中学生の部の閉会式が行われました。閉会式では、ベストチーム賞、ベストディベーター賞、ベスト POI 賞の発表が行われ、受賞を喜び合い、健闘を称えました。



中学生・ベストディベーター賞



中学生・ベスト POI 賞



1 位 神大附属 B



2 位・白百合 A



3 位・翔凜 A

2 日目

2 日目は朝から予選 2 が行われました。予選 2 の論題は「銃撃事件の映像は報道すべきでない」でした。Zoom を用いたディベートにやや慣れてきた様子で、POI 等積極的にディベートに参加していました。



高崎経済朝倉 vs 関西大倉 C



伊那北 D vs 茅ヶ崎北陵 C



宇都宮 B vs 久留米

続いて、九州大学の 大賀哲先生による、予選ラウンド 3 の論題に関するキーノートレクチャーが行われました。専門的視点から語られる公共政策に関するレクチャーは生徒達にとって貴重だったようで、興味津々に聴講していました。



大賀哲先生によるキーノートレクチャーの様子

予選 3 の論題は「公共政策は、少数の専門家や官僚ではなく、世論調査に基づくべきである」です。今までの論題の中で専門性が高く少し難しい議題でしたが、POI 等を大いに活用し、議論百出する生徒達の姿が見られました。



牛久 B vs 高崎経済・大倉



相模原 B vs 屋代 C

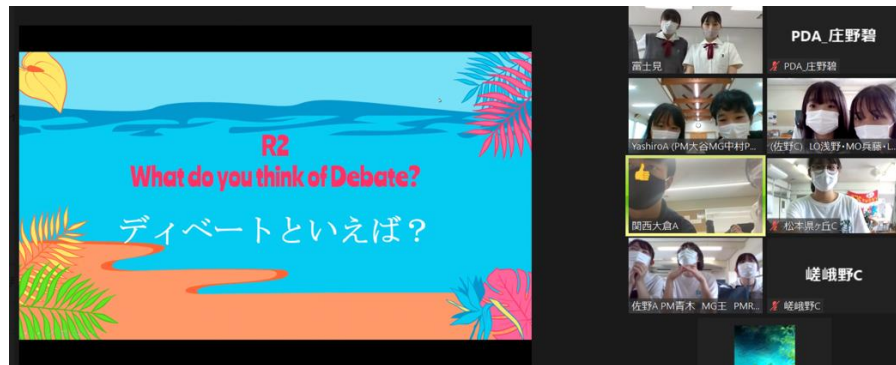


松本県ヶ丘 C vs 関西大倉 A



神大附属 B vs 藤島 A

昼食前に、zoom上でレクリエーション「Telepathy game～以心伝心ゲーム～」が行われました。以心伝心ゲームでは、出たお題をもとに連想する単語を共有しました。グループ内で同じ単語が出ればポイントがもらうことができます。生徒達は和気藹々と意見を交わしていました。先生やPDAスタッフも参加し、楽しいレクリエーションとなりました。以心伝心ゲームのアイスブレイクのお蔭か、休憩時間も昼食をとりながら推しの話などで大いに盛り上がりました。



レクリエーションの様子（お題に合わせて回答を考えます）



レクリエーション後の昼食交流会の様子

その後昼食を経て、準決勝進出チーム（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝進出チーム（課外活動の部(初心者)）の発表（ブレイクアナウンスメント）が行われました。予選とは違い、多くの観客が見守る中、準決勝（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝（課外活動の部(初心者)）が開催されました。論題は「NATOはウクライナに派兵すべきである」です。NATOの今後の動きについて熟考するタイムリーで大切な議論となりました。ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻が激化する中、生徒達による舌戦が展開されました。



授業の部 準決勝① 白鷗女子A vs 作新D 授業の部 準決勝② 作新C vs 城南A



課外の部(初心者) 決勝 南山女子 vs 作新B



課外の部(一般) 準決勝① 藤島 A vs 藤島 C 課外の部(一般) 決勝② 神大附属 A vs 東海



教員ディベートのエアー握手の様子

また、各ラウンドの準備時間には、PDA 学校会員の特典である「PDA 自動ディベートワードシステム」「遠隔ディベート (PDA 大練習会)」や、今年度から始まった一般向けイベント「キーノートディベート」についての紹介がありました。

「PDA 自動ディベートワードシステム」は、今大会などでも使用している単語シートを自動で作成するシステムで、一から作るのが大変な単語シートを作るサポートをしてくれます。

また、「遠隔ディベート (PDA 大練習会)」は月に一度開催されており、全国津々浦々からディベートをしたい高校生が集まり、練習を行っています。練習後には論題に関する解説も行われ、参加している生徒にとっては交流の場・学びの場となっています。遠隔ディベートに参加したことのある生徒は、「いつもは同じ学校の人とディベートしているが、他の高校の人とディベートすることがとても刺激になる。」と感想を述べ、またジャッジとして参加している教員も「数少ないジャッジの練習ができる機会となっている」と述べました。

「キーノートディベート」では、ディベーター・ジャッジ・オーディエンスに分かれ、ディベートを行います。その後、その論題に関する最先端の研究を行っている研究者からキーノートスピーチが行われます。キーノートディベートに毎月参加している教員は、「ディベートをしているとロジックや英語表現に意識が行きがちだが、それでは架空の議論になってしまうことがある。実際の状況を学ぶことにより、地に足のついた議論がすることができる。キーノートディベートはそのための学びが得られるため、教員にはぴったりのイベントだと思う」と感想を述べました。



PDA 自動ディベートワードシステム



【PDA 学校会員限定】

遠隔ディベート (PDA 大練習会)

毎月1回、大練習会形式の遠隔ディベートを開催いたします。

- ・1校1チームの申込み可能です。学校数の上限はありません。
- ・当日は、PDA スタッフによるサポート。各大学校を遠隔で行い、プレイクアールームにて各校がディベートできるような環境を整えます。
- ・論題は、PDA で準備します。
- ・各プレイクアールームでの進行・ジャッジは、各校にて自由に調整いただけます。
- ・授業での参加も可能です。
- ・なお、チーム総数が奇数の場合、ディベートができないことがある際、ご了承ください。

遠隔ディベート (PDA 大練習会)



参加者が遠隔ディベートの感想を述べる様子



キーノートディベート

いよいよ決勝です。決勝の論題は「日本は原子力発電所の利用を促進するべきである」です。2日間オンラインで開催された本大会の最後にふさわしい議論が交わされ、出場者は皆堂々とディベートを行いました。本合宿では生徒がジャッジを経験したため、準決勝や決勝では見学生徒自身も勝敗を出せるよう真剣に観戦しました。



授業の部 決勝 白鷗女子 A vs 城南 A



課外の部(一般) 決勝 藤島 A vs 神大附属 A

結果

〈中学生の部〉

チーム賞

- 1位：神戸大学附属中等教育学校 A
- 2位：白百合学園中学高等学校 A
- 3位：翔凜中学校 A
- 4位：洗足学園中学高等学校
- 5位：聖光学院 B

ベストディベータ賞※☆は3回選ばれた生徒

- ・ 聖光 B 櫻井 惺也☆
- ・ 洗足 入田 采子☆
- ・ 神大附属 C 有田 夏帆
- ・ 神大附属 B 藤田 あかり
- ・ 神大附属 A 鈴木 葉瑠子
- ・ 南山女子 B 大滝 優亜
- ・ 南山女子 B 山口 愛美
- ・ 聖光 A 田邊 創志
- ・ 白百合 A 宇多村 ゆり子
- ・ 翔凜 A 磯辺 慧美理

ベスト POI 賞※☆は3回選ばれた生徒

- ・ 神大附属 B 藤田 あかり☆
- ・ 聖光 A 田邊 創志☆
- ・ 洗足 入田 采子☆
- ・ 神大附属 A 吉永 信美
- ・ 聖光 C 町野 永宜
- ・ 聖光 B 櫻井 惺也
- ・ 都立大泉 A 松田 美咲
- ・ 品川女子 C 飯田 楓
- ・ 大翔凜 B 橋 乃愛
- ・ 翔凜 A 磯辺 慧美理

〈高校生の部〉

チーム賞（授業の部）

優勝： 白鵬女子高等学校 A

準優勝： 福岡県立城南高等学校 A

3位： 作新学院高等学校 C

作新学院高等学校 D

チーム賞（課外活動の部 初心者）

優勝： 作新学院高等学校 B

準優勝： 南山高等学校女子部

チーム賞（課外活動の部 一般）

優勝： 神戸大学附属中等教育学校 A

準優勝： 福井県立藤島高等学校 A

3位： 福井県立藤島高等学校 C

東海高等学校

ベストディベータ賞（授業の部・課外活動の部初心者） ※☆は3回選ばれた生徒

- ・ 四日市 叶 勇飛☆
- ・ 白鵬女子 A 野口 杏莉☆
- ・ 一関第一 河内 菜々美
- ・ 久留米 近藤 綾香
- ・ 嵯峨野 A 榊野 紗也
- ・ 南山女子 吉田 彩乃
- ・ 伊那北 D 矢澤 秀成
- ・ 伊那北 C 佐野 天咲
- ・ 屋代 C 渡邊 悠希
- ・ 長野 B 関 櫻子
- ・ 藤島 D 平井 美帆
- ・ 富山国際 A 松本 梨佐
- ・ 聖光 付 聖宣
- ・ 柏陽 A 佐藤 温
- ・ 相原 C 玻座真 優羽
- ・ 模原 B 古堀 永
- ・ 茅ヶ崎北陵 B 梅村 花香
- ・ 都立大泉 中村 拓海
- ・ 東邦 大河 花寧
- ・ 高崎経済・朝倉 井上智敬
- ・ 作新 B 相良 洋行
- ・ 佐野 C 中崎 楓子
- ・ 宇都宮 B 金枝 央賀
- ・ 宇都宮 A 佐々木 絢矢

- 清真 宮川 久
- 牛久 A 板垣 凜久
- 城南 A 鬼鞍 愛香
- 作新 C 福地 涼介

ベストディベーター賞（課外活動の部 一般）※☆は3回選ばれた生徒

- 城之内 A 鈴木 龍成☆
- 城之内 B 大芝 晴揮
- 神大附属 B 脇阪 紀恵
- 神大附属 A 金光 悠良
- 関西創価 A 中林 沙夢
- 東海 樺山 叶多
- 松本県ヶ丘 関谷 ひより
- 長野 A 石井 友規
- 藤島 C 生田 開都
- 藤島 C 石坂 麟太郎
- 藤島 B 平泉 裕理
- 富山国際 D ヌール アリシャ
- 富山国際 C ヴィエイラ マテウス
- 栄光 B 三富 耀
- 湘南白百合 A 大勢 里咲子
- 翔凜 B 岡本 瑚永琉
- 清真 A 蟬丸 凌太
- 一関第一 A 塚澤 利匡

ベストPOI賞（授業の部・課外活動の部初心者）※☆は3回選ばれた生徒

- 相模原 B 古堀 永☆
- 富士見 野地 未夏☆
- 佐野 C 兵藤 崇人☆
- 牛久 A 小西 桃愛☆
- 一関第一 D 高橋 快治☆
- 城ノ内 C 堤 遙菜
- 神大附属 C 吉田 敦勝
- 嵯峨野 A 榊野 紗也
- 松本県ヶ丘 C 橋本 あかり
- 長野 B 関 櫻子
- 藤島 D 平井 美帆
- 聖光 日下部 龍
- 獨協 C 柴野 慎太郎
- 品川女子 嶋原 亜梨紗
- 作新 B 小池 俊太
- 佐野 D 吉田 華菜

- 宇都宮 B 小林 大輝
- 宇都宮 A 佐々木 絢矢
- 清真 B 方波見 ゆう
- 城南 B 藤兼 峻真
- 城南 A 西脇 大智
- 白鵬女子 A 野口 杏莉

ベスト POI 賞（課外活動の部 一般）※☆は 3 回選ばれた生徒

- 城ノ内 B 太田 菜々香☆
- 長野 A 石井 友規☆
- 栄光 A 加藤 光☆
- 湘南白百合 B 須藤 裕子☆
- 清真 A 蟬丸 凌太☆
- 一関第一 A 佐藤 怜奈☆
- 城ノ内 A 池上 円花
- 静岡 櫻井 あんり
- 岐阜 B・関西創価 B 多和田 芽依
- 屋代 A 池田 春樹
- 藤島 B 平泉 裕理
- 富山国際 D ツィピリョワ アレクサンドラ
- 富山国際 C ヴィエイラ マテウス
- 翔凜 B 広田 未来
- 作新 A 棚橋 東子
- 佐野 B 吉田 菜々
- 佐野 A 王 一汀
- 一関第一 C 佐藤 志哉
- 盛岡第一 A 田端 天翔

アンケート（抜粋）

生徒の声（中学生）

- 普段は自分の知ってる人しか試合をやらないので、他校の方と試合するところできて、これからにもつながるいい経験となりました！（湘南白百合学園中学校・2年）
- 論題がおもしろかった。（神戸大学附属中等教育学校・2年）
- 他学年とも交流できたし難しかったですが論題が何になるのか、などドキドキしたり楽しかったです。（南山中学女子部・3年）
- 他校との交流ができて楽しかった。フィードバックもとても参考になった。（都立大泉高校附属中学校・3年）
- 他校との交流があって良かったです。ディベートを一緒にしたことがない人ともできて、新たな改善点やディベートの特徴に出会えたので良かったです。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- まさに「井の中の蛙大海を知らず」を実感しましたし、議論も白熱して面白かったです！（南山中学女子部・2年）
- まず、この大会を準備して下さった関係者の皆様本当にありがとうございました。今までの成果を十分に発揮し、リプライスピーカーとして、ベストディベーター賞も頂き、大変光栄です。他校の方ともたくさん会話する機会があり、今までの大会の中で最も充実した大会だったと思います。ありがとうございました。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- 他校との交流で、たくさんの方のことを相手チームから学べたり、ジャッジの先生からの的確なアドバイスをもらえて、自分の課題が見えてよかった。（東洋英和女学院・3年）
- 英語で意見を伝え合うのが楽しかったです。（品川女子学院・1年）

教員の声（中学校）

- 中学、高校とこれだけ規模の大きい大会を様々な人の力で運営されていることに感動しました。様々な学びをありがとうございました。
- 実際にやってみて、とても難しくチャレンジングでしたが、良い経験になりました。

生徒の声（高校生）

- 初めて対戦できる高校の方々が沢山いてめちゃくちゃ楽しかったです。（翔凨高校・2年）
- 後輩と共に充実した期間を過ごすことが出来た。（品川女子学院・2年）
- たくさんの方と交流することができ、新しい考えを得ることが出来た。（一関第一高校・2年）
- ディベートという普段ではできない体験をすることが出来たので、本当に楽しかったです。（作新学院高校・1年）
- いままで英語でディベートちゃんとできたことがなかったけどどんどん話せるようになった。（関西大倉高校・1年）
- はじめてのディベート大会で、2連続負けたけれど、2日目は2連続勝ててはじめてディベートが楽しくなりました。そしてベストディベーター賞受賞させていただくこととなりましたが、チームメイトがとても親切丁寧に協力してくれたので楽しくできました。（茅ヶ崎北陵高校・1年）
- ディベート詰めの2日間、何ラウンドも練習ができて、とても楽しかったです。結果は負けてばかりだったが、とてもよい経験になりました！（岐阜高校・1年）
- 対戦して下さった学校はみんなレベルが高く、自分たちの論をどうやったらジャッジにより説得力あるように説明できるかチームで協力して試合に挑めた。（屋代高校・2年）

- 良い結果が出なくてもジャッジの方に改善点や新しい技などを教わることでよかったです。（佐野高校・2年）
- 他校とのディベートのし合いがとてものしかった。また、さまざまなテーマについて考えることができた。（茅ヶ崎北陵・1年）
- 初めて全国規模の練習会に参加したので、初めて対戦する高校ばかりで、いろいろな意見を聞けたので楽しかった。また、積極的にPOIをして、POI賞ももらえたので楽しかった。（一関第一高校・1年）
- 去年は悔しい結果で、今年は自分たちの代で中心となってディベートができて、準優勝できてとてもうれしかったです！ディベートを愛する仲間と深い議論をすることができて最高の瞬間でした！良い思い出になりました！これからのディベートの活力にしていきたいと思います！（福岡県立城南高等学校・2年）
- ディベートの試合はもちろん、そのあとの他校の皆さんとの交流が面白かったからです。また、ジャッジの方々に指摘してもらったことを生かして練習していきたいです。（徳島県立城ノ内中等教育学校・2年）
- 強い学校とあたって深いところまで議論を発展させることができ、キーノートレクチャーを通して知識を増やすこともできて、本当に楽しかったです。（
- ジャッジ体験では、どのようにジャッジが考えながらディベートを聞くのか、ということ意識することができた。大切になってくるポイントを自分の中で吸収して、自分のディベートに活かそうと思う。（静岡高校・1年）
- ジャッジ体験では、全員の点数をつけたりアタックが有効なのかを考えたりするジャッジの難しさがわかりました。スピーカーを客観的に見れたので何が自分のスピーチに足りないのかわかりました。（鹿児島中央高校・2年）
- 他校の生徒との交流やキーノートレクチャーによる学びで、自分のモチベーションが上がった。（一関第一高校・2年）

教員の声（高校）

- どの論題も面白かったです。キーノートレクチャーも素晴らしかったです。
- 当初、教員ラウンドもあるのかと憂鬱でしたが、やってみたら意外に楽しませていただきました。
- 普段大人しい生徒たちでしたが、本気で楽しんでいる姿を初めて見られました。ディベートの可能性を感じられた2日間でした。
- 教員同士のディベート実践が刺激的で、先生方のスピーチはもちろん、ジャッジをしてくださった方々のコメントがも、とても勉強になりました。生徒のディベートもたくさんジャッジをさせていただき、ありがたかったです。ディベートの生徒さんたちは、皆とても礼儀正しく、ディベートとしての姿勢が素晴らしかったです。先生方の日頃の指導の賜物だと思いました。論外のチョイスも興味深く、時事問題に詳しい生徒は、様々な具体例を出せたのではないかと思います。（）
- 実際に教員としてディベートを行い、他のディベーターの先生から学ぶことも多かつたし、ジャッジの方のコメントから、役割ごとにどのようなスピーチの構成にすればよいかなど、非常に勉強になりました。
- 始めたばかりなので、体験できてよかったです。授業に役立てたいと思います。

ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

以上

(写真) 学校からの写真の送付ご協力をありがとうございました。



ベストディベーター賞受賞者



ベスト POI 賞受賞者



授業の部 決勝 エアー握手 (白鷗女子 A・福岡県立城南高校 A)



白鷗女子 A 就業写真・ディベートの様子



藤島高校集合写真



神戸大学附属中等教育学校 A チーム



清真学園



課外の部(初心者)優勝 作新学院 B チーム



授業の部 3位 作新学院 C チーム・D チーム



栃木県立佐野高等学校



神奈川県立柏陽高等学校 ベストディベーター